

盛岡みたけ支援学校

研究テーマ

「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した 授業づくり」

～学習評価の充実を通して～（2年研究1年次）

1 全校研究

(1) 主題設定の理由

本校では、授業づくりの充実を目指し授業実践を中心にした研究を行ってきた。前研究(令和2～3年度)では、新学習指導要領に基づき「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業づくりにおける授業改善の有効性を確認した。一方で、児童生徒自身が学習したことの意義や価値を実感できるような学習評価や児童生徒が学習したことを小学部、中学部、高等部と積み上げていくことが課題とされた。この課題は、学習指導要領の改訂の基本方針に上げられた「育成を目指す資質・能力の明確化」や「カリキュラム・マネジメントの推進」により改善できると考えた。そこで、本研究では授業づくりで授業改善を効果的に行うために学習評価の充実を目指して取り組むこととした。

(2) 研究内容・方法

本研究では、以下の教科による教科研究会を中心に取り組む。

① 各教科：音楽、体育

②各教科等を合わせた指導：日常生活の指導、生活単元学習、作業学習

次の取組を通して学習評価の充実を図り、PDCA サイクルを効果的に行うことを目指して取り組んでいく。

① 各教科等の目標や内容を新学習指導要領の3つの柱に基づき整理する。

② 指導計画を活用し、学習評価、授業改善、次回の学習計画に活用できるようにする。

(3) 研究の目標

学習評価をもとに授業改善をし、個々の児童生徒の力を積み上げることが出来る授業づくり

① 児童生徒にどんな力が身に付いたか把握できる学習評価にする。

② 学習評価を効果的に活用できる体制づくりをする。

(4) 全校研究会・授業研究会

① 第1回全校研究会 5月13日(金)

・今年度の研究についての提案・協議

② 第2回全校研究会 9月20日(火)

・中間報告

③ 全校授業研究会 12月14日(水)

中学部 作業「2023年青山雪あかりに納品するろうそくを作ろう～目標500個!～」

研究会では、生徒が学習を積み重ねるために、三観点についてどのような様子进行评估し、評価をもとにどのように次回計画を立てていくかについてグループで協議を行った。

④ 第3回全校研究会 2月27日(月)

・1年次研究のまとめと次年度の提案・協議
・研修報告会

福島県立相馬支援学校公開研究会参加報告

2 各教科研究

(1) 日常生活の指導

小学部から高等部まで学習を積み重ね、段階的・系統的に指導ができるための引継ぎ方法や教材等について検討を行った。

(2) 生活単元学習、作業学習、音楽、体育

新学習指導要領の各教科等の考え方に基づいて、小学部から高等部までの学習を積み重ねるための学習はどうあればよいか検討したり、授業実践を共有したりしながら、本校としての各教科等の考え方をまとめた。

3 講演会

演題：「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり～学習評価の充実を通して～」

講師：弘前大学大学院教授 菊地 一文 氏

期日：令和4年7月27日(水)

※二戸分教室は、Teamsでの参加。

4 研修会

校内研修

①職員研修の日 7月29日(金)

施設見学と体験型研修を選択制で実施した。

②校内タブレット講習会(計3回)

リモートでの授業や会議を行う際のTeamの操作演習を行った。